

2021年8月13日

神奈川県知事
黒岩 祐治殿

神奈川県産科婦人科医会
会長 中野眞佐男

COVID-19 感染症の拡大に伴い

県内の産科・周産期医療を堅持するための施策に関するお願い

我々神奈川県産科婦人科医会は、COVID-19 感染拡大に伴い、神奈川県内の産科・周産期医療を守るために、日々総力を挙げて諸課題を検討しております。

昨今の急激な若年者を中心とした感染拡大により、多くの COVID-19 感染妊婦が発生しております。県内医療機関における COVID-19 対応病床の逼迫、不足が懸念される状況下で、妊産婦がこれまで同様、適切な医療機関で適切に管理することができるようにするために必要な以下の5つの課題について、迅速なご対応をお願い申し上げます。

今後も引き続き、本会与行政において情報共有・連携を密に行いながら課題解決に向けて力を尽くしたいと考えておりますので、ご指導のほどよろしく申し上げます。

1. 妊婦は入院が求められる者であるが、症状・週数・感染拡大の状況により、暫定的に妊婦の安全が担保される範囲で、入院の適応については柔軟に対応すること。
2. 周産期コロナ受入医療機関に対して受け入れ可能陽性妊婦の人数の拡大を要望するとともに県内の分娩取り扱い施設に対して、新たに周産期コロナ受入医療機関となることを要望すること。
3. 陽性妊婦の分娩に際しては母子双方に適切な医療を行う必要があることから、周産期コロナ受入医療機関に対して、分娩が切迫した妊婦の受入に格段の配慮を行うよう要望すること。
4. 災害時小児周産期リエゾンに対する業務負担軽減・業務に対する評価について検討すること。
5. 妊婦に対する新型コロナウイルスワクチン接種を推奨、推進すること。

以上

2021年8月13日

横浜市長
林 文子 殿

神奈川県産科婦人科医会
会長 中野眞佐男

COVID-19 感染症の拡大に伴い
県内の産科・周産期医療を堅持するための施策に関するお願い

我々神奈川県産科婦人科医会は、COVID-19 感染拡大に伴い、神奈川県内の産科・周産期医療を守るために、日々総力を挙げて諸課題を検討しております。

昨今の急激な若年者を中心とした感染拡大により、多くの COVID-19 感染妊婦が発生しております。県内医療機関における COVID-19 対応病床の逼迫、不足が懸念される状況下で、妊産婦がこれまで同様、適切な医療機関で適切に管理することができるようにするために必要な以下の5つの課題について、迅速なご対応をお願い申し上げます。

今後も引き続き、本会与行政において情報共有・連携を密に行いながら課題解決に向けて力を尽くしたいと考えておりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 妊婦は入院が求められる者であるが、症状・週数・感染拡大の状況により、暫定的に妊婦の安全が担保される範囲で、入院の適応については柔軟に対応すること。
2. 周産期コロナ受入医療機関に対して受け入れ可能陽性妊婦の人数の拡大を要望するとともに県内の分娩取り扱い施設に対して、新たに周産期コロナ受入医療機関となることを要望すること。
3. 陽性妊婦の分娩に際しては母子双方に適切な医療を行う必要があることから、周産期コロナ受入医療機関に対して、分娩が切迫した妊婦の受入に格段の配慮を行うよう要望すること。
4. 災害時小児周産期リエゾンに対する業務負担軽減・業務に対する評価について検討すること。
5. 妊婦に対する新型コロナウイルスワクチン接種を推奨、推進すること。

以上